

しまねの もり 森林

NO. 18

平成22年1月号
通巻258号



平成21年度
島根県緑化ポスター原画コンクール
入賞作品

特選 小学校の部

特選 中学校の部

特選 高等学校の部



「木のようせい」
出雲市立神戸川小学校4年
高橋椿太郎



「木を植えよう」
津和野町立木部中学校3年
大井 志織



「木の公園」
島根県立津和野高等学校1年
森川 郁絵

- 2 **森林のたより**
林業普及活動成果発表会
～島根県林業普及指導事業60周年記念事業
林業課 林業普及スタッフ
- 4 **森林のトピックス①**
木材協会松江八束支部を主体にした
松江市圏域の木材流通システムの再構築
東部農林振興センター 林業部
- 5 **森林のトピックス②**
水源林造成事業の紹介
(独)森林総合研究所森林農地整備センター 松江水源林整備事務所
- 6 **ズームアップ**
NPO活動への新たな支援制度「しまね社会貢献基金」
環境生活総務課NPO活動推進室
- 7 **森林へ行こう!**
vol.⑭ 安蔵寺山 (益田市・津和野町・吉賀町)
しまねの自然
シリーズ⑫ イイギリ
- 8 **そこが知りたい シリーズ⑤**
林業・木材製造業関係職場から労働災害を無くしましょう!!
— リスクアセスメントの推進 —
林業課 林業普及スタッフ
- 9 **森林の研究**
竹林管理のススメ!
中山間地域研究センター 農林技術部 資源環境グループ

表紙の説明

◇平成21年度島根県緑化ポスター原画コンクール入賞作品

島根県と(社)島根県緑化推進委員会では、児童・生徒の緑化思想の高揚を図るため、平成21年度島根県緑化ポスター原画コンクールを開催しました。

表紙の作品は、応募のあった325作品から審査の結果選ばれた特選の3作品(小学校、中学校、高等学校各1作品)です。

2010「しまねの森林」フォトコンテスト作品募集中

「しまねの森林」発行委員会では、島根県の恵み豊かな自然、緑豊かな森林を多くの人々に理解して頂くために、テーマを「しまねの森林」として作品を募集しています。(フォトコンテストの詳細は10月号または島根県林業課のホームページをご覧ください。)

島根県林業課ホームページ

<http://www.pref.shimane.lg.jp/ringyo/>

森林のたより

林業普及活動成果発表会

～島根県林業普及指導事業60周年記念事業～

林業課 林業普及スタッフ

10月30日「サンラポーむらくも」において林業普及員が取り組んでいる活動内容を発表し、参加者との意見交換を通じて普及情報等の提供を行うとともに、今後の普及活動の改善と林業普及員の資質向上に資する目的で林業普及活動成果発表会を行いました。また、島根県林業普及指導事業60周年記念事業として講演会も開催し、更に長年指導林家として森林施業技術指導等に取り組み、ご功績のあった4名の方の表彰を行いました。

永原農林水産部次長の開会挨拶から始まり講演会から発表会まで参加者約130名は熱心に聞かれ、質問や意見が多く出され盛り上がりました。

林業普及指導事業60周年記念講演

- 講師 鹿児島大学農学部教授 遠藤 日雄 氏
- 演題 「山を豊かにする木材の売り方」
- 講演内容の概要

- 林業の現場は閉塞感がありますが、この原因の一つは外材価格は上がっても国産材価格は上がらないためではないでしょうか。この分析をすることが重要であります。
- 林業・木材産業界の大きな変化として大手住宅メーカーが国産材にシフトし、集成材や無垢の人工乾燥材が使用されています。しかし、全国の製材品の中で人工乾燥材の割合が2割しかなく供給が乏しい状況であります。



遠藤日雄講師の講演

- 2006年の製材品出荷量の国産材割合は57%であり、南九州では93%が国産材で既に国産材時代が来ています。かつてのスギ中目材(末口24~28cm)問題は集成材のラミナを挽くことによって解決されました。
- 2007年に立木価格がわずかではありますが上がったのは、合板や集成材にスギ等の国産材が使われたためであります。
- 国産材の使用拡大が行われているところは、合板会社等への直流システムに取り組んでいるところ、人工乾燥技術をもった製材工場があるところ、プレカットと結びついたところあります。

豊かな自然、豊かな暮らし。農林中央金庫の願いです。

 **農林中央金庫**
松江支店

松江市殿町111 松江センチュリービル4F TEL(0852) 21-4411

緑と水を育む豊かな森を明日の世代へ
一制度資金のご融資を通じて地元林業を応援しますー

 **日本政策金融公庫**
松江支店 農林水産事業

〒690-0887 松江市殿町111番地(松江センチュリービル7階)
TEL: 0852-26-1133 E-mail: matsue@afc.jfc.go.jp
FAX: 0852-24-5334 HP: <http://www.afc.jfc.go.jp/>

- 大径材（末口30cm以上）問題として、径級が太くなくても価格が上がらず、末口20cmの柱用をピークに下がっている現象が見られます。これに対し、一部の業者ではヤング率70以上はあるということを保保に販路拡大を行っています。
- 山側が豊かになっていくには、丸太価格をどのように上げていくかが重要であり、そのためにはどういう需要と結び付けたいのか、林業と川下の製材業とのミスマッチ（梅雨時期の出荷、供給過剰など）をどうするのか。また、間伐だけでなく皆伐も選択肢に入れることも必要になってきます。

林業普及活動成果発表・意見交換

- 発表者 隠岐支庁農林局 主任林業普及員 林 晋平
- タイトル 「県民協働による水と緑の森づくり」
- 発表概要

「荒廃森林の再生」や「県民による森づくり」を進めるため、普及員が間伐研修の技術支援やコーディネート役として積極的な活動を行い、取組成果として荒廃森林の整備や地域住民の森林に対する意識が高まってきました。今後も林業普及員が潤滑油・コーディネート役として県民理解の醸成を図り、県民参加の森づくりなどを進めます。



林主任林業普及員の発表



藤原専門林業普及員の発表

- 発表者 西部農林振興センター県央事務所 専門林業普及員 藤原 芳樹
- タイトル 「提案型集約化施業を通じた素材生産拡大への取組」
- 発表概要

提案型集約化施業とは、森林所有者へ施業内容・経費・収入などを「提案書」という形で明示し、団地化することにより事業量の拡大を図るといいう仕組みであります。邑南町宇津井団地でモデル的に提案型集約化施業を実施したところ、提案書の提示により受注率が高くなるなどいくつかの確認できた点や路網開設～間伐材搬出まで人員配置の面で課題があるなど反省点もありました。これらの分析を踏まえ、林業普及員として次の集約

化団地への改善に繋がっていきたいと思います。

感謝状贈呈

指導林家として地域林業の模範として林業経営を行い、林業技術の指導等に尽力された安来市の山本潤氏、奥出雲町の響忠好氏、大田市の那須忠志氏及び同市の佐々木幸雄氏が都合により平成20年度末で辞められたため、長年のご功績に対し、表彰が行われました。（佐々木氏は当日欠席）



元指導林家（左から那須氏、響氏、山本氏）の表彰

地球にやさしいカートカン

※国産材30%以上使用した紙製飲料容器です。

ep
new products awards
2006

カートカン(紙製飲料容器)
カートカン杯
東三浦エコープラザワン大賞
エコアワード部門
農林水産大臣賞受賞

3.9
A111-670008

●紙製飲料容器「カートカン」は
ストローいらずでゴクゴク飲めます!

カートカンのサイクル

国産材率 30%以上
国産材を 積極的に活用

POKKA

amv-acora「自販機本部」
(03)5634-1621まで

ポッカ コーポレーション
<http://www.pokka.co.jp/>

木材協会松江八東支部を主体にした 松江市圏域の木材流通システムの再構築

東部農林振興センター 林業部

■取組の背景

松江圏域では、「地域材供給システム構築プロジェクト」の取り組みとして、民間住宅への地域材使用の促進策を検討してきました。

その中で、松江市単独支援として、松江八東森林組合、木材協会松江八東支部と松江市が連携し、松江市による「市産木材活用事業」がスタートしました。

この事業を契機として、松江市における地域材供給システム構築に必要な林業・木材産業の組織化や施設整備等の仕組みづくりを一体的に進めることとしています。

■新たな流通拠点（システム）の導入

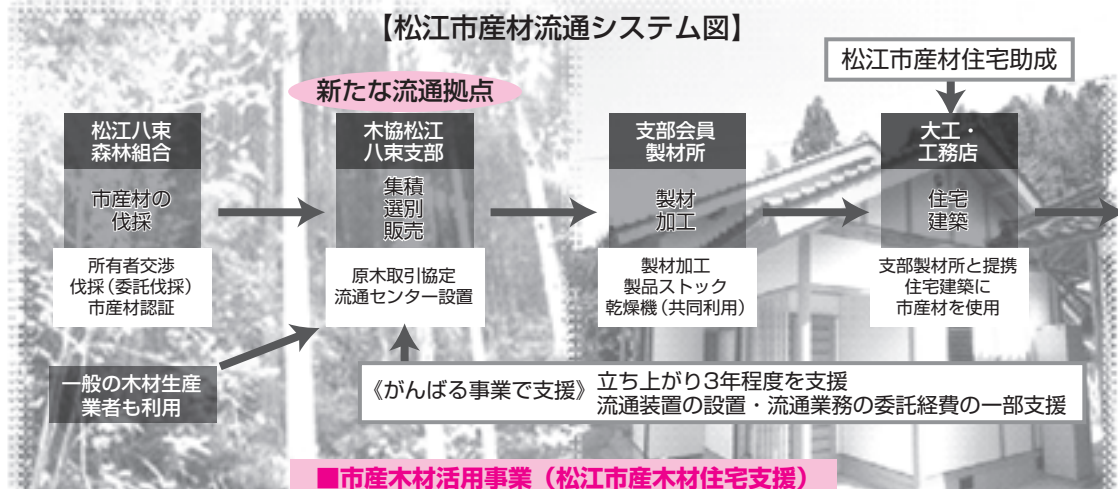
住宅建築への木材供給を実現するためには、松江木材市場（H20.10取引停止）にかわる新たな流通拠点が必要との認識から、関係機関（者）が協議した結果、以下のシステム導入を決定しました。

■松江市における木材生産・加工・流通の再構築

今回、市産材利用にこだわったのは、松江市の現状において、県産材、地域材等での捉え方では、松江市の林業施策は起動しないとの思いからです。そこで、市産材流通促進の目的を明確にするため、市助成金を市産材に投入することで、松江市林業経済活動の呼び水とすることを考えました。

また、これまでは個々に取り組んでいた森林・林業・木材産業に対し、行政として一括支援を行います。具体的には、松江八東森林組合と木材協会松江八東支部の連携により、木材生産から流通加工さらには住宅建築つなげる目に見えるような活動を行うことです。

このような取り組みを通じて、松江市さらには圏域における木材生産・加工・流通体制の再構築が図られると考えています。



■市産木材活用事業（松江市産木材住宅支援）

- 木造住宅に松江市産木材を1m³以上使用する場合、松江市産木材1m³当たり松江市から2万円助成(最大20万円)
- 松江市内に自ら居住する10m²以上の住宅を新築・購入・増改築及び住宅の修繕・模様替
- 島根県「県産木材を生かした木造住宅づくり支援事業」と合わせて利用

県産木材+石州瓦
40万円

+

松江市産木材
20万円

=

最大
60万円助成

松江市助成事業



森林の中で働く人のお手伝いをします

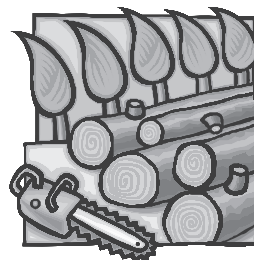
島林労確 |

検索

1. 林業労働者の募集
2. 新規就労者及び雇用主に対する研修
3. 林業就業促進資金の貸付
4. 高性能林業機械の貸付
5. 林業雇用に関する情報の提供・相談その他の援助
6. 雇用改善のための啓発活動

島根県林業労働力確保支援センター（社団法人 島根県林業公社内）

松江市母衣町55番地4（松江商工会議所ビル6F）TEL (0852) 32-0253 FAX (0852) 21-4375
E-Mail shimane-roukakuc@forestry-shimane.or.jp



水源林造成事業の紹介

(独)森林総合研究所森林農地整備センター 松江水源林整備事務所

1. 水源林造成事業とは

水源かん養等森林の有する公的機能が劣っている民有林において、その機能を早期に発現させるために造林地所有者と造林者及び造林費用負担者（森林総合研究所）が分収造林契約を締結し造林を行い、伐採時にその収益を一定の割合で分収する制度で昭和36年度より事業を開始して以来、全国で46万ヘクタール島根県では3万ヘクタールを植栽しています。

2. 対象地と分収率

対象地は水源かん養上重要な保安林のうち、無立木地・散生地等水源かん養機能が低下している山林で分収割合は右のとおりです。

	3者契約	2者契約
造林地所有者（土地の提供）	40%	} 同一者 50%
造林者（造林の実行）	10%	
森林総合研究所（費用負担・実行指導）	50%	50%

3. 主な事業

①多様な森林の整備 写真①

植栽関係

☆新 植：針広混交林・短伐期・長伐期

★複層林：針広混交林・長伐期

②計画的な保育事業

下刈・除伐Ⅰ・除伐Ⅱ（不良木の除去）・裾枝払い・つる切り・間伐

③計画的、効率的な木材の利用 写真②

立木販売（利用間伐）：列状間伐の導入

素材販売（保育間伐・支障木）：資源の有効活用

④基盤整備の拡充（作業道） 写真③

森林総合研究所森林農地整備センターでは、環境にやさしく壊れない（コスト縮減）作業道作りを目指し、丸太組工法を採用し実施しております。

写真①



針葉樹と広葉樹の森林

写真②



間伐材の般出

写真③



丸太を利用した作業道

写真④



民国連携により作設された作業道

5. 水源林造成事業の効果

水源林造成事業は全国で46万ヘクタールの造成を行っていますが、その機能の評価は次の通りです

- ①水源のかん養 年間36億トン貯水（東京都で使う2年分の水量に相当）「緑のダム」
- ②国土保全 年間9千トンの土砂流出を防止（東京ドーム72個分に相当）
- ③地球温暖化防止 年間180万トンのCO₂を吸収
- ④地域の振興 中山間地域の雇用の確保と環境の整備

6. これからの水源林造成事業

多様な森林の造成（広葉樹を活用した針広混交林）とマツクイによる被害地の複層林化を進め、水源林としての機能の維持・増強に邁進しますと共に、環境に優しい壊れない作業道を作設します。

また、基盤整備を進めることにより、事業の効率化・資源の有効活用に繋がることから、現在島根県で実施しております「民国連携」を活用すると共に、もっと身近な民有林との連携を深め、協力することによる共存・共栄を軸とした地域貢献を心がけていきたいと思っております。民国連携写真④

自然との調和

松くい虫防除薬剤

ヤシマスミパイン乳剤
ヤシマスミパインMC
マツグリーン液剤2
モリエート SC

松くい虫駆除薬剤

ヤシマ NCS
ちゅらシート
カシナガ予防薬剤
ケルスケット

松くい虫予防薬剤

グリーンガード・エイト

瞬間殺蜂スプレー

ハチノックL・S



ヤシマ産業株式会社 大阪営業所
〒532-0011 大阪市淀川区西中島7-1-26 オリエンタルビル5F
TEL 06-6886-0241 FAX 06-6886-0242



NPO活動への新たな支援制度「しまね社会貢献基金」

環境生活総務課NPO活動推進室

■県内NPO法人の状況

島根県内のNPO法人数は、平成21年12月末現在のところ212法人です。

全国のNPO法人数は38,806法人（平成21年11月末現在）であり、本県の法人数は全国で第45位ですが、人口10万人あたりの法人数では第15位という状況です。

本県のNPO法人の活動状況は、分野状況では、「保健、医療、福祉」、「まちづくり」、「社会教育」、「子どもの健全育成」等の分野の活動が特に活発に行われています。また、全国の状況と比べると、「まちづくり」「環境の保全」「情報化社会」等の割合が大きくなっています。

■森林・林業関係のNPO法人

林業関係の活動を行うNPO法人の多くは、活動分野として「環境の保全」を選択している法人（87団体）の中に含まれます。未整備の人工林の間伐や枝打ちなどの整備や、荒廃した竹林の整備、里山の保全活動を行う団体など様々な活動が行われています。

NPO法人の活動は、自らの意志に基づく自発的な取り組みであり、創意工夫を重ねながら継続して実施されていることが大きな特徴です。

県内NPO法人の活動分野（全国比較）

H21.12末現在 県内法人数212

活動分野	島根県		全国
	法人数	割合	
1 保健、医療又は福祉の増進を図る活動	145	68.4%	57.8%
2 社会教育の推進を図る活動	102	48.1%	46.1%
3 まちづくりの推進を図る活動	129	60.8%	41.0%
4 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	83	39.2%	33.0%
5 環境の保全を図る活動	87	41.0%	28.7%
6 災害救援活動	17	8.0%	6.3%
7 地域安全活動	25	11.8%	10.0%
8 人権の擁護又は平和の推進を図る活動	33	15.6%	15.7%
9 国際協力の活動	36	17.0%	19.5%
10 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動	23	10.8%	8.3%
11 子どもの健全育成を図る活動	98	46.2%	40.9%
12 情報化社会の発展を図る活動	35	16.5%	11.0%
13 科学技術の振興を図る活動	15	7.1%	4.9%
14 経済活動の活性化を図る活動	61	28.8%	13.8%
15 職業能力開発又は雇用機会拡充の支援活動	71	33.5%	19.0%
16 消費者の保護を図る活動	21	9.9%	5.7%
17 連絡、助言又は援助の活動	120	56.6%	44.4%

(注1) 一つの法人が複数の活動分野の活動を行う場合があるため、合計は100%にはならない。

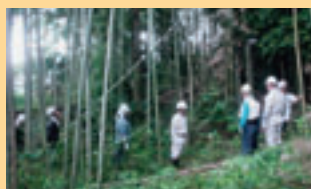
〈森林・林業関係NPO法人の活動例〉



〈NPO法人もりふれ倶楽部〉
森林整備を通じて得られた間伐材も有効利用しています



〈NPO法人緑と水の連絡会議〉
石見銀山世界遺産を守る森づくり活動に力を入れています



〈NPO法人竹でだんだんしまね〉
荒廃した竹林整備（本数調整）を進めています



〈NPO法人里山バイオマスネットワーク〉
子ども達も参加し、里山再生への取り組みを進めています

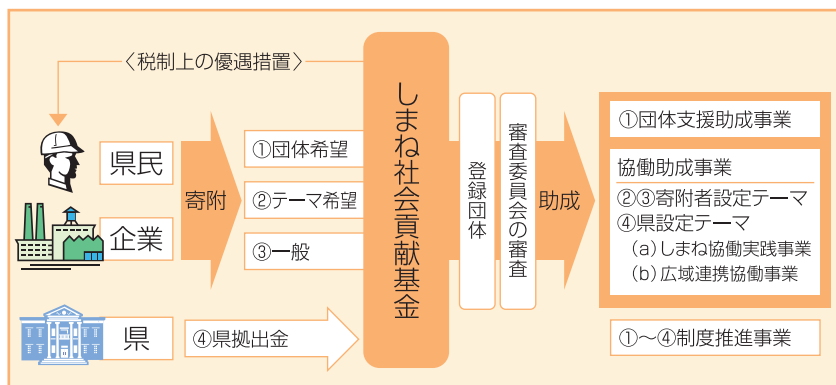
■しまね社会貢献基金

本年度4月から、しまね社会貢献基金の運用を始めました。この制度は、県の拠出金（60,000千円）と企業や県民の皆様からの寄附を原資にして、県が基金を創設し、基金登録団体（NPO団体など）が行う社会貢献活動を支援するものです。

平成21年12月末現在、基金登録団体数は37団体ですが、今後は、登録団体数の増加と制度の充実を図ることにより、社会貢献活動を活性化させていきたいと考えています。

この基金への寄附は、税制上の優遇措置を受けられるメリットもありますので、皆様の熱い想いを寄附に託してみませんか？

※詳細については県ホームページ (<http://www.pref.shimane.lg.jp/npo/fund/>) をご覧ください。



森林へ行こう! vol. 14

あ そう じ さん 安蔵寺山

●益田市・津和野町・吉賀町
／標高:1,263.2m

安蔵寺山は、益田市、津和野町、吉賀町の1市2町にまたがり、西中国山地国定公園の西端に位置しています。広島県境の恐羅漢山(1,346.4m)や、山口県境に近い額々山(1,279.0m)などとともに、島根県内で最も標高の高い山々が連なる地域にあります。

安蔵寺山の山名は、平安時代末期から南北朝時代の頃に安蔵寺という山岳密教の寺院が山頂近く、現在の寺屋敷跡にあったためと伝えられています。

登山ルートは、益田市、津和野町、吉賀町のそれぞれにあります。ここでは津和野町側の大規模林道安蔵寺トンネル登山口からの最短ルートを紹介。登山口からジグザグに登って行くと10分ほどで稜線に出ます。ここから南側に200mばかり進むと「ナラ太郎」と呼ばれている推定樹齢900年のミズナラの巨木があります。そして、ミズナラやブナの美しい森林を通り抜けて行くと、やがて北峰、中峰を経て、寺屋敷跡から山頂に至ります。山頂にはテーブル状の岩があり、その下には安蔵寺観音が祀られています。山頂からの展望も見事ですが、南に5分ほど進むと展望台があり、西中国山地のさらにすばらしい眺めを楽しむことができます。(所要時間は登山口から山頂まで約1時間30分。登山適期は4月から11月上旬。)



「ナラ太郎」と呼ばれるミズナラの巨木



登山道から望む安蔵寺山の山頂

西中国山地は、環境省のレッドデータブックで「絶滅のおそれのある地域個体群」となっているツキノワグマの生息地です。登山の際は、クマ鈴を携行するなどの注意も必要です。また、登山のマナーを守ってツキノワグマの生活を脅かすことの無いように心がけたいものです。安蔵寺山は、その豊かな自然に人と自然との共存を想起させられる霊峰です。
〔内藤暢文〕

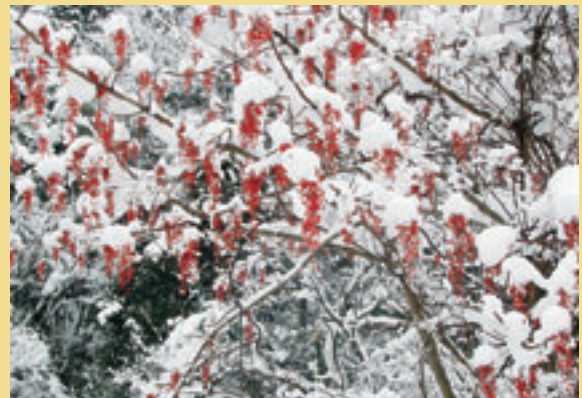
しまねの自然 シリーズ ⑫

島根県内の森林には、多くの注目すべき植物が自生しています。このシリーズでは、このうちの樹木を中心に紹介していきます。

■ イイギリ(飯桐) (イイギリ科)

イイギリはイイギリ科イイギリ属で、イイギリ属唯一の種です。日本の本州以南、朝鮮、中国、台湾に分布しており、山地のやや湿気のあるところに生育しています。

雌雄異株の落葉高木で高さ15~20m、直径40~50cmになります。キリヤアカメガシワに似た大きな葉を枝先に束生し、葉柄は長く先端に2個の腺点があります。果実はブドウの房のように垂れ下がります。冬に赤い実をつける樹木は多いのですが、高木になる木は珍しく、冬の青空に映える赤い実は特に印象的です。フラワーアレンジメントの材料としても珍



重されています。

樹形も美しく、真っ直ぐ伸びた主幹に太い枝が車軸状に何段かに出て、規則正しくすっきりとした樹冠をつくります。庭木や公園樹、街路樹として植えられています。成長が速いので、狭い場所には不向きなようです。

葉が桐の葉に似ていて、ご飯を包むのに使われていたことが名の由来です。また、果実がナンテンに似ているのでナンテングリともいわれています。

実はかたく、小鳥たちにとってはあまり美味しくないのか、冬の終わり頃まで残っているのを見かけます。

(津島辰雄)



◆林業・木材製造業関係職場から労働災害を無くしましょう!!◆

ー リスクアセスメントの推進 ー

林業・木材製造業関係の作業現場においては、繁忙期を迎えていますが、事業主と従業員が一体となって労働災害防止の徹底を図りましょう。

I リスクアセスメントを始めましょう

◆リスクアセスメントとは何でしょう？

リスクアセスメントとは、「作業がどれ位危険か（リスク）をランクづけし、事前に評価（アセスメント）すること」です。リスクを小さくする知恵をみんなで出し合い、みんなで考えようとするものです。

◆リスクアセスメントのねらい

リスクアセスメントのねらいは、作業現場で労働災害の発生しそうな危険なところを前もって全般的に洗い出し、事前にどれくらい危ないかを体系的に評価し、その評価の大きさに従ってきちんと対策を実施することです。

◆“災害ゼロ”から“危険ゼロへ”

災害という結果だけではなく、災害の原因となる危険因子に目を向けることが何より大切です。「危険をよみ、災害の芽をつむ」ための効果的な手法がリスクアセスメントです。

◆危険予知活動とリスクアセスメントは車の両輪です

リスクアセスメントの重要なポイントは、危険因子の洗い出しです。危険予知活動*を通じて磨かれたリスク感覚がリスクアセスメントに生きてきます。

※職場で何が危険かを話し合い、考え合い、分かり合って、危険のポイントや行動目標を確認して、問題（危険）を解決する継続的な活動

◆リスクアセスメントを進めて行くには！

労働災害を減少させるためには、事業経営のトップの立場にある人が安全に向けた強い意志を有することが重要です。リスクアセスメントの導入について事業経営のトップがその意義や活動の位置づけを十分理解し、リスクアセスメントを始める意志を明確に表明し、周知を図り、従業員とともに「真に安全な職場づくり」を進めることが重要となります。

II ステップに従ってリスクアセスメントを進めましょう

◆リスクアセスメントを始める前に準備が必要です。

◇リスクをお互いに感じあえる職場づくりが大切です。
◇職場全体がリスクについて常に気づいていることこそが一番大切です。

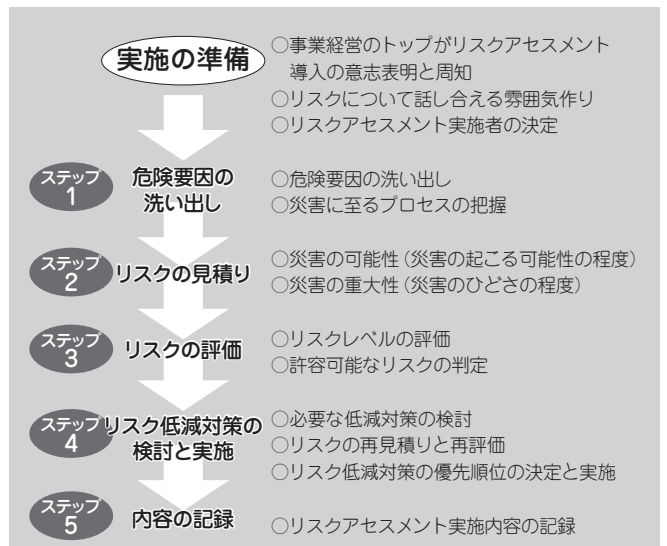
◇お互いに信頼して、危険について自由に話し合える雰囲気づくりをしましょう。

◇リスクアセスメントの実施者を決定します。3～5名程度を目安として実施します。

- (1) 事業者
- (2) 安全衛生推進者
- (3) 現場管理者〔班長、作業主任者〕
- (4) 作業者

◆右のステップに従ってリスクアセスメントを進めましょう。

※詳しい内容については、島根県農林水産部林業課、各農林振興センター、林業・木材製造業労働災害防止協会島根県支部までお問い合わせ下さい。



みんなを守ろう！

山陰の森林・環境を守ろうとするNPO法人やボランティア団体が結集しています。

森林を守ろう！

山陰ネットワーク会議

事務局 山陰合同銀行地域振興部内 松江市魚町10 TEL.0852-55-1820

植物油 生分解性オイル

YSバイオチェーンオイル

エコマーク認定番号 第04110009号・特許 第3513132号

●全国をネットする総合潤滑油メーカー

ヤナセ製油株式会社

本社/06-6939-1251・米子営業所/0859-27-2933

森林の研究



竹林管理のススメ!

中山間地域研究センター 農林技術部 資源環境グループ

■はじめに

近年、様々な分野で竹を有効活用する方法が検討され、実用化されています。しかし、大量に竹を消費していくには、竹の資源量や生産量の把握、処理コスト、竹林の管理方法など基礎となるデータが必要です。

■島根県内の竹林の状況

島根県内の竹林は昭和50年代約7千haでしたが、現在では約1万haと急激に増加しています。

拡大を続ける竹林について、島根県森林GIS情報（H20）を用いて、分布状況及び発生規模を調査しました。その結果、県内の竹林が森林計画図の最小単位の分班で約5万カ所に分布していることがわかりました。これを分班の面積別に見ると0~0.2haの竹林数が最も多く、全体の約75%を占めています（図1）。

次に竹材の搬出や林内作業管理の難易度を道路からの距離で区分してみました。その結果、比較的管理し易いとされる50m以内に位置する竹林は県内の竹林面積の約20%であることがわかりました（図2）。

■適正な管理の必要性

道路から近い竹林だけでも管理をしないと、造林地だけでなく、耕作放棄地など農地にも侵入し、農林地としての活用を困難にしてしまいます。また、竹林は一回皆伐してもその後の管理を怠ると数年で元の状態に戻ります。このため、伐採作業を継続する必要があり、利用方法（竹材利用、タケノコ生産、ホダ場利用、林間放牧等）を考慮しておくことも大切です。

■今後の試験

今後、航空写真による放置竹林の拡大予測や関係機関と連携しながら利用目的別の竹林の管理手法を検討します。

（主任研究員 西 政敏）

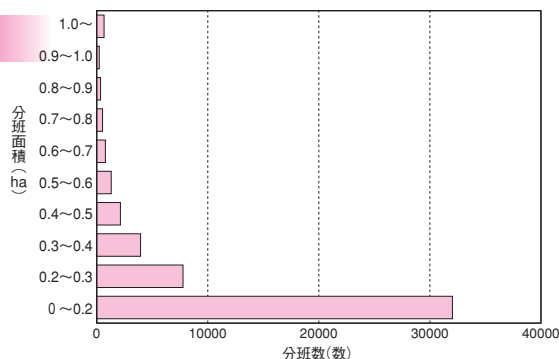


図1 島根県における竹林の規模

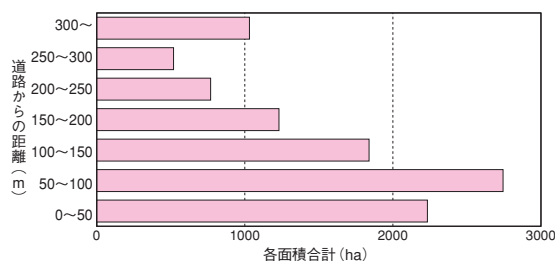


図2 竹林の距離別面積



図3 竹林の分布図（森林GIS利用）



豊かな緑 豊かな水をみんなで守る。

「緑の募金」は、大切な森林や緑を守り、育てることに役立てています。かけがえのない郷土の緑を守るため、ぜひご協力をお願いします。

(社)島根県緑化推進委員会 (特定公益増進法人)

松江市母衣町55 島根県林業会館内 TEL(0852)21-8049 FAX(0852)21-8231

インフォメーション

元気がでる！ 島根県民の森(飯石郡飯南町小田) 県民の森へ行こう!!

小学生からプロまでの森林・林業についての研修会の開催や、講習会等の場も提供しています。

中山間地域研究センター 県有林スタッフ
TEL 0854-76-2302

2月～4月の県民の森のイベント情報

申込先: 県有林スタッフ TEL0854-76-2302
<http://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/mori/>

- ◆2月7日(日)かまくらづくり(定員20名)
- ◆2月11日(木:祝日)スノーシュートレッキング(定員20名)
冬山の基礎講座有り
- ◆4月4日(日)残雪トレッキング(定員20名)
- ◆4月25日(日)琴引山縦走(定員20名)

身近な自然に親しもう! 島根県立ふるさと森林公園 触れ合おう!

松江市宍道町佐々布

「里山自然塾」に参加してみませんか?

ふるさと森林公園を管理している島根県立緑化センターでは、公園内の自然を活用したイベントの一環として里山自然塾を年間11回開催しています。

2月～3月の講座の御案内

- ◆2月7日(日)第10回講座「花炭とハゼろうを作ろう!」
炭の効能と作り方の基本を学び、部屋に飾れる花炭を作ります。また和ろうそくに使われているハゼの実のろうづくりを体験します。おき火を使った焼き芋の美味しい作り方も学べます。
- ◆3月7日(日)第11回講座「竹を学び使ってみよう!」
竹について、材としての特徴も踏まえて学び、竹で「かぐや姫時計」を作ります。京都の竹林管理の話も聞けます。
- ◇時 間: 10:00～15:00
- ◇定 員: 各回20名程度
- ◇参加料: 300円 事前予約が必要です。
- ◇問い合わせ、申し込み先: ふるさと森林公園学習展示
Tel/Fax 0852-66-3586
Eメール morifure@coffee.ocn.ne.jp

「森づくり」は
「人づくり」!

「グリーンマイスター」新たに10名誕生



県内の豊かな森林資源を有効に活用し、より効率的な木材生産を行うために、木材生産技術者の養成は緊急の課題になっています。

そこで、島根県では森林組合や民間の林業事業体に雇用されている若手の現場技術者(40歳未満)で、将来の作業班のリーダー(班長)になりうる者を対象にして、より幅広く専門的な林業の技能・知識を習得してもらうために「林業作業士(通称:グリーンマイスター)養成研修」を実施しています。

このたび平成21年度的全研修日程が修了し、12月11日(金)に(社)島根県林業公社の佐藤孝男理事長から10名の研修生に認定証が交付されました。

昭和57年度からスタートしたこの制度における本県のグリーンマイスターは230名となりました。

世の中は「コンクリートから人へ」をキャッチフレーズに、次代を担う人材の育成に力を入れはじめています。

森林・林業・木材産業においても、水源のかん養や国土保全機能、あるいは二酸化炭素吸収源としての役割を高めるために、間伐など適切な森林の整備を行うだけでなく、高性能林業機械による効率的な木材生産技術、森林資源を的確に把握したうえでの効果的な作業路の開設、市場のニーズに対応した経済的な採材技術など、より高度な知識と技能を備えた人材が必要となってきています。

島根県の「グリーンマイスター」はこれら専門技術を習得した精鋭部隊です。

この専門技術を各地域の現場で十分活用し、活躍されることが本県の森林・林業・木材産業発展の大きな力となることと期待しています。



お知らせ

☆林業に就業を希望される皆様へ☆

県内の林業事業体の事業主が、業務の内容や求人状況をお話しする説明会が下記により開催されます。事前の申込は不要です。お気軽にお出かけください。

記

- 開催日時: 平成22年2月19日(金) 10:00～15:30
- 開催場所: 島根県出雲市駅南町1-5 「ビッグハート出雲」2F 茶のスタジオ TEL:0853-20-2888
- 参加事業体: 林業認定事業体 数社
- 主催: 社団法人 島根県林業公社(林業労働力確保支援センター) TEL:0852-32-0253

土木工事関係技術書 販売中!

「島根県公共工事共通仕様書」2分冊 6,300円
 「岡山県土木工事共通仕様書」2分冊 6,300円
 中国地方整備局版「土木工事共通仕様書」21年度上・下巻 5,500円
 中国地方整備局版「土木工事数量算出要領」21年度 3,000円

ご購入希望の方は、下記へご連絡ください。申込用紙をFAXにてお送りいたします。ご記入の上ご返送をお願いします。
 ご注文・お問い合わせは
 ハーベスト出版 [森谷口印刷内]
 HARVEST TEL 0852-36-9059 FAX 0852-36-5889
 URL <http://www.tprint.co.jp/harvest/> E-mail: harvest@tprint.co.jp 〒690-0133 島根県松江市東長町902-59

森林の緑を守り、緑を育てる

—主要販売品目—

- ◎林木苗畑 (除草剤、殺虫、殺菌剤)
- ◎松くい虫防除薬剤 (スミバインMC、林業用NCS)
- ◎林地除草剤 (フレノック粒剤、ザイトロンフレノック微粒剤)
- ◎樹幹注入剤 (ネマノン、グリーンガードエイト、マツガード)

山陽薬品株式会社 島根支店

〒690-0011 松江市東津田町1252
 TEL (0852) 23-3721(代) FAX (0852) 27-5322



木を DESIGN
 Simple X Natural = Timeless Modern
Toei



**Toeiの「しあわせの家」は
 安心・安全な自然素材としまねの木**

- 国産材の土台、柱、梁、桁 (松、杉、桧) (しまねの木70%以上使用)
- ぬくもりのある左官仕上げの珪藻土塗り壁
- 素足にやさしい杉無垢材のフローリング
- 自然素材 [セルロースファイバー] を使った断熱工法
- 地震に強い軸組+耐力面材構造
- 熟練大工による手刻み加工

株式会社 藤栄工業

建設業知事許可(特)第2382号・宅地建物取引業知事免許第257号 一級建築士事務所知事登録第1955号
 本社 松江市北田町22番13 TEL.0852-21-2055
 斐川店 簸川郡斐川町直江町4624 TEL.0853-73-8080

「Toei」のホームページ

藤栄工業 検索

森林は、いつも危険と隣りあわせ

森林国営保険 に入りませんか



雪害

大量積雪による幹折れ、根返りなどの損害



火災

山火事で受けた損害

- 樹種、林齢に制限はありません。(天然林、竹林は除く)
- 1年単位で、ご希望の年数で加入できます。
- 火災、風害、水害、雪害、干害、凍害、潮害、噴火災の8つの自然災害が対象。

最寄の森林組合・森林組合連合会・県庁森林整備課までお気軽にお問い合わせください。

サンケイ化学の松くい虫防除資材

多目的使用(空中散布・地上散布)が出来る

スミバイン®MC

伐倒木用くん蒸処理剤

キルパー®

松枯れ防止樹幹注入剤

グリーンガード®・エイト

お問い合わせは 県森連・森林組合へ

サンケイ化学株式会社 大阪営業所

大阪市淀川区西中島4-5-1 TEL 06 (6305) 5871

新発売 散布用薬剤

モリエート®SC

伐倒木くん蒸用生分解シート

ピオフィレックス®

マツノマダラカミキリ成虫誘引剤

マダラコール®

除草はおまかせ下さい!

竹類に効果抜群です!

クズ株処理剤

○ **テンレート**

非農耕地用除草剤

◎ **日本カーリット株式会社**

九州営業所
 福岡市博多区博多駅前1-4-4
 ☎ (092) 473-6521
 FAX (092) 451-8195

○ **グンコウ** 液剤

1株一ワンプッシュ 経済的

◎ **野津善助商店**

本社 八東郡東出雲町大字錦浜583-10
 ☎ (0852) 53-0670(代)
 FAX (0852) 53-0674
 E-mail: notsu@tx.miracle.ne.jp

育林、林産、森林土木、造園等の施工管理

緑を育て水をはぐくむ

大和森林株式会社

代表取締役 椎名 宜三

本社 島根県松江市東朝日町87番地6 〒690-0001

☎ (0852) 21-6222(代)

営業所 松江、益田、鳥取、三次、岡山



安全・安心・美味しい
 日本産原木しいたけ栽培を応援します

財団法人 **日本きのこセンター**

三次支所

広島県三次市畠敷町916-2 (三次地方卸売市場内)

TEL 0824-63-1226 FAX 0824-63-2012

広域

NPO法人もりふれ倶楽部 「しまね間伐推進講演会」

- 日時:平成21年10月31日(土)
- 場所:島根県立ふるさと森林公園
学習展示館



県庁林業課

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-kentyou/>

松江

斐伊川水系水源の森づくり 「東出雲町・安来市住民交流会」

- 日時:平成21年11月28日(土)
- 場所:安来市広瀬町



東部農林振興センター

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-matsue/>

雲南

「ドコモ 島根だんだんの森」 森林保全活動

- 日時:平成21年11月7日(土)
- 場所:飯南町角井



東部農林振興センター雲南事務所

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-kisuki/>

出雲

「ナラ枯れ被害をおさえよう!」 ナラ枯れ対策研修会を開催

- 日時:平成21年11月19日(木)
- 場所:出雲市大社町



東部農林振興センター出雲事務所

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-izumo/>

浜田

地元の資源を活用しよう! ~植樹、木工、キノコ採り体験~

- 日時:平成21年11月23日(月)
- 場所:浜田市田橋町



西部農林振興センター

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-hamada/>

県央

「大田市富山地区農業用水・ 水源林保全隊」活動!

- 日時:平成21年11月25日(水)
- 場所:大田市富山町



西部農林振興センター県央事務所

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-kawamoto/>

益田

よみがえれ! 白砂青松 中須地区でマツ苗の植林活動

- 日時:平成21年11月28日(土)~29日(日)
- 場所:益田市中須町



西部農林振興センター益田事務所

URL : http://blog.goo.ne.jp/f-masuda_001/

隠岐

「漁業者による植栽 イベント実施」

- 日時:平成21年11月22日(日)
- 場所:海士町福井



隠岐支庁農林局

URL : http://blog.goo.ne.jp/f-oki_001/

農大

記録更新! タワーヤーダ 架設時間14分 高性能林業機械基礎実習(1年生)

- 日時:平成21年12月7日(月)~10日(木)
- 場所:大田市波根町
島根県立農業大学校 機械訓練場



島根県立農業大学校森林管理科

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-nodai/>